

本紙企画担当部長 「知識で視野広く」

貝塚市立南小で授業

教育に新聞を

広がるNIE



新聞を活用した授業の実践に取り組む貝塚市立南小（同市地蔵堂）で3日、産経新聞大阪本社編集企画室の藤浦淳・企画担当部長が「『えーっ！』と思える人になろうと新聞に書かれた大切なこと」と題し、5年生の児童約100人を前に授業を行った。

藤浦部長は「国語や社会科、理科などの力を身につけてこそ、初めて驚いたり学んだりすることができると強調。さまざまな知



貝塚市立南小の児童を前に講師を務める産経新聞編集企画室の藤浦淳・企画担当部長＝貝塚市

識を得ることで、季節や町の動き、変化など、日常生活の中で視野が広がることを説明した。

また、昨年4月に起きた熊本地震の紙面から新聞記者の仕事も紹介。自らが小学生時代に作った新聞スクラップを披露し、「ニュースに敏感になることがしつかりした大人への第一歩」とメッセージを送った。

授業を受けた男児(11)は「地震取材は怖いが、記者の仕事にはいろいろな取材があり、楽しい感じがする」と話していた。